

災害医学研究部門
特別講演会&ワークショップ
災害時のパーソナルヘルスレコード (PHR) 活用
—熊本県荒尾市の「あらお健康手帳」に学ぶ—

次世代型避難所と平常時の備えに関して特別講演会とワークショップを開催します。災害時に被災者の方々の健康情報（病名や処方内容を含む personal health record (PHR)）を活用することは、災害時の保健医療管理において極めて重要な意味があります。平常時のひとりひとりの患者さんの PHR を災害時に活用するための工夫を先行的に実施されている熊本県荒尾市のとりくみをご紹介いただき、次世代型避難所のあり方、PHR 活用のあり方を考えるワークショップにしたいと考えています。皆様ご参加ください。

記

主催：東北大学 災害科学国際研究所 災害医療国際協力学分野

共催：東北医科薬科大学 医学部 医療管理学教室

日時：2022年12月22日（木） 15:00-17:00

会場：東北大学災害科学国際研究所 会議・セミナー室（対面のみ）

参加申し込み：<https://forms.gle/SNqZQ93Ytix5rAJJA>

講師：

1. 熊本県荒尾市医師会副会長、成風舎西原クリニック理事長 中村 光成 先生
「健康・患者・お薬手帳を活用した災害への備え」(15分)
2. 荒尾市 総合政策課 宮本 賢一 様
「行政からみたあらお健康手帳の役割と課題」(10分)
3. NEC ソリューションイノベータ 野元 美穂 様、鬼塚 友里絵 様
「あらお健康手帳アプリの技術的な解決と課題」(15分)
4. 東北大学 災害科学国際研究所 災害医療情報学 藤井 進 先生
「次世代型避難所にむけた IRIDeS スタンダード」(15分)
<<<<< 休憩 5分 >>>>>
5. フリーディスカッション(50分)
テーマ：平時と災害時の PHR 利用のあり方
6. まとめ(10分)

司会：江川 新一（東北大学 災害医療国際協力学）

以上